

～人口減少と社会資源の縮小に向き合い、 地域を変える実践へ～

本年7月、「共に生きる社会をつくる社会福祉士」をテーマに、青森県で第34回全国社会福祉士全国大会が開催されました。

全国大会では、人口減少や地域コミュニティの希薄化、生活課題の複合化、孤立・孤独の深刻化など、社会を取り巻く課題が大きく変化する中で、社会福祉士が果たすべき役割について議論が深められました。また、緊迫する世界情勢による物価高騰、雇用や暮らしの不安定化は、生活に困難を抱える人々へ大きな影響を及ぼしており、人と人とのつながりや支え合いの価値が改めて問われています。

四国においても、人口減少や少子高齢化、地域の担い手不足など、地域社会の維持に向けた課題が顕在化しています。一方で、四国には地域のつながりや支え合いの文化があります。こうした地域の力を生かしながら、誰もが安心して暮らし続けられる地域共生社会をどのように創造していくかが求められています。

本研修会では、全国大会で示された理念を四国の実践に繋げる場として、四国4県社会福祉士が集い、制度や分野を超えた連携、本人中心支援、地域における参加と役割づくり等について学び合います。そして県域を超えた交流を通じて、社会福祉士としての使命を再確認し、これからの地域福祉実践につながる機会とします。

日 時 2026年（令和8年）11月22日（日）
23日（月）

会 場 香川県社会福祉総合センター7階 大会議室
〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10-35
TEL 087-835-3334

対 象 社会福祉士（※四国地区以外でも可）社会福祉に関心のある方

定 員 会場100名（※先着順です。定員になり次第、受付を終了します。）
会場分科会各30名程度（第1～第3希望により割り振ります。）

参加費

会 員	3,000円
非会員社会福祉士	5,000円
学 生	500円

1日目基調講演：「地域の現状に向き合い、 地域を変える実践へ（仮）」

竹端寛（たけばたひろし）

〈略歴〉

兵庫県立大学環境人間学部教授、専門は福祉社会科、社会福祉学。
1975年、京都市生まれ。大阪大学人間科学部、同大学院博士課程修了。
博士（人間科学）。
山梨学院大学教授、兵庫県立大学准教授を経て、2024年から現職。
現場（福祉、地域、学生）とのダイアログの何かを模索しようとする、
産婆技術的触媒と社会学者の兼業。

西宮市地域福祉計画策定委員会委員長、芦屋市権利擁護システム
委員会委員長などを務める。

著書に『ケアしケアされ、生きていく』

『福祉は誰のため？』（ちくまプリマー新書）、『能力主義をケアでほぐす』
（晶分社）、『多機関協働がうごきだすーバザーリア、フレイルが奏でた「革命」』
（現代書館）、『枠組み外しの旅ー「個性化」が変える福祉社会』（青灯社）など。



主催 一般社団法人愛媛県社会福祉士会、一般社団法人高知県社会福祉士会、
一般社団法人徳島県社会福祉士会、公益社団法人香川県社会福祉士会（主管）

第1日目 11/22(日)

12:30～受付

13:30～13:45

開 会・オリエンテーション

13:45～15:15〈基調講演〉

「地域の現状に向き合い、地域を変える実践へ（仮）」

講師：竹端寛教授 兵庫県立大学

15:30～17:00〈シンポジウム〉

○シンポジスト

①北島日向子 氏（NPO法人アイルコート）

②梶 久美子 氏（社会福祉法人坂出市社会福祉協議会坂出成年後見センター）

③三瀬 誠 氏（香川県社会福祉士会会長）

○進行：高木千晶氏（香川県社会福祉士会副会長）

○助言者：竹端寛 氏

第2日目 11/23(月)

9:00～12:00 実践研究

分科会①地域支援

（香川県）（徳島県）（高知県）

分科会②相談支援

（香川県）（徳島県）（愛媛県）

分科会③権利擁護

（香川県）（高知県）（愛媛県）

12:00～12:10 閉 会

申込はこちら



参加申し込みいただいた
方に後日、参加費の振り込み
についてメールでご案内します

【情報交換会】11/22(日)18:00～
海鮮居酒屋 神童ろ
定員60名 参加費 6,000円

申込締切11月14日

（情報交換会申込を含めます）

その他 参加申込書に記載された個人情報は、本研修の運営のみに使用いたします。

お問い合わせ先：公益社団法人香川県社会福祉士会 事務局
〒762-0083 香川県丸亀市飯山町下法軍寺581-1

TEL0877-98-0854

Email ;info @kagawacsw.com